

令和2年9月4日

長崎リハビリテーション学院
学院長 本川 哲 殿

学校関係者評価委員会
委員長 山口 孝敏

学校関係者評価委員会報告

令和元年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 山下 均 (鈴木病院 リハビリテーション科科長 理学療法士)
- ② 岩永真仁 (南野病院 リハビリテーション科副科長 作業療法士)
- ③ 福田優希 (長崎みなとメディカルセンター市民病院 言語聴覚士)
- ④ 平野英三 (元同窓会会長 愛野記念病院 事務長代理)、副委員長
- ⑤ 赤川義則 (大村市赤佐古町 町内会長)
- ⑥ 祝 利久 (長崎県立大村高等学校 教頭)
- ⑦ 山口孝敏 (元県立学校 校長)、委員長

2 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第1回委員会 令和2年 6月29日 (会場 長崎リハビリテーション学院)
第2回委員会 令和2年 8月 3日 (会場 長崎リハビリテーション学院)
第3回委員会 令和2年 8月20日 (会場 長崎リハビリテーション学院)

3 学校関係者委員会報告

別紙1、2 のとおり

以上

I 重点目標について

1 重点目標 1. について [重点目標 1. 教育力の強化]

基礎分野の強化や階層別の学習支援などより効果的な学習指導を行っている。ベースには教員との信頼関係に基づく学生の意欲向上が必要になる。教員の教授力向上にむけて講義アンケートの活用や学内勉強会などを実施している。一方で、原級留め置き者や中途退学者がおり、学力のみならず精神面、経済面から学生の抱えている課題を早期に把握し細やかな指導につなぐ必要がある。

2 重点目標 2. について [重点目標 2. 学院経営に対する参画強化]

- ・学院経営は、入口（学生募集）－中間（教育）－出口（就職）の各段階が充実することにより良好な状態になる。
- ・学生募集は広報部を中心に活動しており、高校生数が減少する背景の中で一定の成果は得られている。さらに国家試験合格率を向上させ認知度を上げて入学者増につなげてほしい。就職は毎年 100%で良好であり、引き続き病院施設との連携を深め支援を行ってほしい。

3 重点目標 3. について [重点目標 3. 健全かつ生産性のある就労環境づくり]

- ・労務管理は、就業規則に準じて、管理職が「部署別勤務表」「時間外勤務振替簿」をもとに把握した。振休取得率は徐々に改善されてきている。
- ・職員の相談窓口を設置している。今年度より管理職による面接を通して業務の自己目標に対する自己評価を実施している。
- ・防災対策は前年度より改善している。年度末からコロナ対策にも取り組んでいる。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

- ・学院、学科において目標を掲げ PDCA サイクルに則り実践している。
- ・指定規則改正における臨床実習形態「診療参加型臨床実習」への変更については、実習地との連携を図りながら計画的に導入している。
- ・国家試験対策では対策委員会が主導して、「学科チーム」の考え方、1，2年生を検討対象とし成績分析するなど、新たな視点をもって取組んだ。

2 学校運営

- ・入口「学生募集」、中間「学生教育・指導」、出口「就職」とし、それぞれ数値目標を掲げて取組んだ。「学生募集」と「学生教育・指導」はさらなる改善を期待したい。
- ・学院運営規定に則り、組織的に職務を遂行している。向陽学園本部とは定例会を通じて連携している。

3 教育活動

- ・学力差のある学生集団に対して、e-ラーニング教材や学習会などの工夫をしている
- ・学業の継続に不安が生じないように、早期に学習面や生活面を把握することが求められる。
- ・教員の教授力向上のために講義アンケートや学内勉強会を実施している。
- ・教員1名の不足は4月に採用予定である。

4 学修成果

- ・国家試験合格率は昨年度より高い学科と低い学科があった。全国平均を上回る安定した合格率となるよう努力してほしい。
- ・昨年度より原級留め置き者が多かった。学生の問題を早期把握し学科として対策をとり、保護者との関係を有効に活用するなど進級に向けて支援してほしい。
- ・卒業生の社会的評価の把握は継続してほしい。

5 学生支援

- ・就職支援室の学生支援（履歴書添削、試験対策など）が充実している。
- ・中途退学者の退学理由は多岐にわたる。担任を中心に養護教諭や学生相談室の支援により退学者低減に向けた取組みを継続してほしい。
- ・学生の経済的側面に対する支援は、学院独自の各種減免制度や高等教育の修学支援新制度などを整備している。
- ・卒業生への支援では、今年度は同窓会総会が実施できていないので次年度開催に向け計画的に取組んでほしい。

6 教育環境

- ・教育施設は、指定規則に基づいた基準を満たしている。
- ・学外の実習施設と連携の取れた教育が行われている。
- ・防災マニュアル簡易版を作成し学内に周知した。夜間や休日の防災対応の検討が必要である。

7 学生の募集と受入れ

- ・学生募集については数値目標に若干届かなかったが、おおむね達成している。広報部を中心に学科としても広報活動に取り組み始めた。理学療法学科二部は健闘した。
- ・入学試験の選抜は適正に行われている。辞退者については授業料を返還し適正に取り扱っている。

8 財務

- ・財務基盤は、少子化の影響や競争により不安定となるおそれがあるが、教育研究経費・管理経費において見直しを行い経費節減に努めている。
- ・平成30年度より財務情報をホームページ上に公開している。掲載データの表現に課題がある。

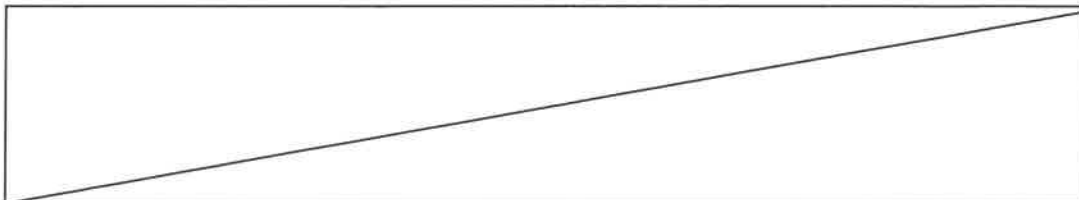
9 法令等の遵守

- ・指定規則等の法令を遵守して運営している。変更は適切な手続きを経て届け出ている。自己評価も毎年実施し県へ報告し、ホームページに掲載している。
- ・個人情報保護に関する規定が就業規則に定められている。学生に対しては指導を行い実習前や卒業時に誓約書を提出させている。

10 社会貢献・地域貢献

- ・市民向けの公開講座、市の介護予防教室への教員・学生派遣、施設の開放など、社会に貢献している。
- ・学生ボランティアも積極的に活動している。
- ・地元の高校からの職業教育に関する講師依頼に対し、教員を派遣して職業理解に努めた。

11 国際交流 ※学校から必要がある項目として提示された場合



※評語の意味			
4	適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。		
3	ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組が期待される。		
2	対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。		
1	全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。		

1) 項目1：理念・目的・育成人材像

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	4	4
2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4	4
3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	4
4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4	4

2) 項目2：学校運営

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	理念等に沿った運営方針を定めているか	4	4
2	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4	4
3	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	4
4	学校運営のための組織を整備しているか	4	4
5	人事・給与に関する制度を整備しているか	3	3
6	意思決定システムを整備しているか	4	4
7	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3	3

3) 項目3：教育活動

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	4
2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4	4
3	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	4
4	教育課程について外部の意見を反映しているか	4	4
5	キャリア教育を実施しているか	4	4
6	授業評価を実施しているか	3	3

7	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	4
8	各種科目試験は適切に行うことができているか	4	4
9	講義や実習の運営は適切に行うことができているか	4	4
10	学籍管理は適切に行うことができているか	4	4
11	目標とする資格・免許は、教育課程上で明確に位置づけているか	4	4
12	資格・免許取得の指導体制はあるか	4	4
13	資格・要件を備えた教員を確保しているか	3	3
14	教員の資質向上への取組みを行っているか	4	4
15	教員の組織体制を整備しているか	4	4

4) 項目 4 : 学修成果

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	就職率の向上が図られているか	4	4
2	資格・免許取得率の向上が図られているか	4	4
3	卒業生の社会的評価を把握しているか	4	4

5) 項目 5 : 学生支援

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	4
2	退学率の低減が図られているか	4	4
3	学生相談に関する体制を整備しているか	4	4
4	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	4
5	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4	4
6	課外活動に対する支援体制を整備しているか	4	4
7	保護者との連携体制を構築しているか	4	4
8	卒業生への支援体制を整備しているか	3	3
9	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	4
10	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4	4

6) 項目 6 : 教育環境

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	4
2	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	4

3	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3	3
4	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3	3

7) 項目7：学生の募集と受け入れ

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	4
2	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	3	3
3	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	4
4	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4	4
5	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	4
6	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	4	4

8) 項目8：財務

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	4
2	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4	4
3	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	4
4	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	3	3
5	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	4
6	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3	3

9) 項目9：法令等の遵守

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	4
2	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	4
3	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4	4
4	自己評価結果を公表しているか	4	4
5	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4	4
6	学校関係者評価結果を公表しているか	4	4
7	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	4

10) 項目10：社会貢献・地域貢献

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
2	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4	4